

# ロビンフッド

— エアゾール —

「さくら」での  
使い方はこちら

## 隠れてもムダ、 狙った幼虫一撃防除!!

クビアカツヤカミキリ※(特定外来生物)やスカシバ類にも!!

※「カミキリムシ類」の適用で使用できます。

直接ノズルで、  
手間いらずの強力殺虫

## ロビンフッドの特長

○いつでもどこでも防除できるハンディタイプ  
携帯性に優れているので、管理作業の合間でも気軽に防除できます。また、害虫に応じてノズル式と噴射式が切り替え可能な2ウェイノズルを採用しました。

### ○接触毒で高い殺虫効果

接触毒性に優れているので、食入孔に潜む害虫に高い効果を発揮します。  
また、ヒメボクトウではフラッシングアウト(追い出し効果)が認められることもあり、食入孔から出てきた害虫は死に至ります。

### ○低温時でも効果が安定

春・秋などの低温時においても、安定した効果をもたらします。

# 害虫へねらい撃ち! シャープな殺虫効果

ロビンフッド<sup>®</sup>  
—エアゾール—

## ノズル式処理



## 適用害虫と使用方法(抜粋)

作物名	適用病害虫名	使用時期	使用方法	本剤の使用回数
(かんきつ、りんご、なし、びわ もも、すもも、うめ おうとう、ぶどう、かき、マンゴーを除く)	カミキリムシ類 スカシバ類	収穫前日まで	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内
もも、すもも	カミキリムシ類、スカシバ類			
りんご なし	カミキリムシ類、ヒメボクツウ スカシバ類			
ぶどう	スカシバ類、カミキリムシ類 コウモリガ	成虫発生初期	噴射	6回以内
樹木類	クビアカツヤカミキリ(さくら)			
	ケムシ類、アブラムシ類、カミキリムシ類成虫			
	カミキリムシ類			

\*ロビンフッドには、かんきつ、びわ、うめ、おうとう、かき、マンゴー等、他作物にも登録があります。詳細はラベルでご確認ください。

2021年9月現在の登録内容

## 使用回数の数え方

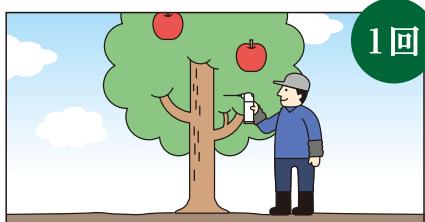
りんごなどの果樹の場合、「本剤の使用回数」は、「収穫終了後から翌年の収穫まで」の期間内でカウントします。



### 本剤(ロビンフッド)の使用回数

#### 1回とカウントする場合

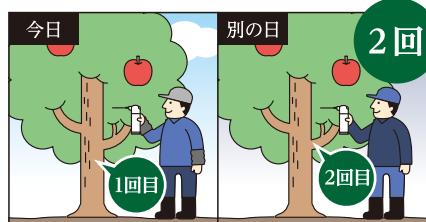
1つの樹に何回処理しても、1日の作業の中であれば「1回」とカウントします。



### 本剤(ロビンフッド)の使用回数

#### 2回とカウントする場合

1回目の処理と別の日に処理した場合は、「2回目」とカウントします。



## 使用上の注意事項

●ヒメボクツウ、カミキリムシ類に使用する場合、以下の点に注意してください。

- ①幼虫の食入が進むと効果が劣る場合があるので、食入初期に使用してください。
- ②適用害虫の食入孔にノズルを差しこみ、薬剤が食入孔から逆流するまで噴射してください。
- ③逆流した葉液が果実や葉にかかるないように注意してください。

●カミキリムシ類成虫に対して使用する場合は、害虫の体が葉液で濡れるよう十分量噴射してください。  
●樹木類のケムシ類、アブラムシ類および花き類・観葉植物に使用する場合、植物体への近接噴射は冷害を生じるおそれがあるので、30cm以上離れた所から1~3秒間ずつ断続して茎葉が濡れる程度に噴射してください。特に新芽、新葉、蕾、花弁には十分注意してください。

●日中高温時、強風時、降雨前の使用はさけてください。

●蚕に長時間毒殺があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用しないでください。

●ぼけには薬害を生じるおそれがあるので、使用はさけてください。

●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。

- ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかかるないようにしてください。
- ②受粉促進目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
- ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

●本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に噴射液がかかると変色するおそれがあるので、噴射液がかかるないように注意してください。

●使用後の空缶は戸外でボタンを押してガスを出しきったことを確認してから捨ててください。

●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●適用作物群に属する作物又はその新品种に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されています。

●本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。

●本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意してください。

●使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。

●街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう繩張いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

●取扱いには注意してください。

●人に向かって噴射しないでください。



## 火気と高温に注意

### 高压ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ってください。

①炎や火気の近くで使用しないでください。②火気を使用している室内で大量に使用しないでください。③高温になると破裂の危険があるため、直射日光の当る所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないでください。④火の中に入れないでください。⑤使い切って捨ててください。 高圧ガス:ジメチルエーテル

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

03R9121R56:ZS

2021年9月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐへ  
SCA GROUP



住友化学

